



# 高輪だより

令和2年度1月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

## 2021年のはじまりに

園長 柿沼 敦子

新年おめでとうございます。2021年は丑年。丑年は十二支の2番目の干支であることから、前年の子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期で、まだ結果を求める時期ではなく、「結果につながる道をコツコツと基礎を積み重ねていく時期」とされる説があります。とは言え、過去の丑年には人類初の宇宙飛行やハイブリット車のデビュー、コンビニエンスストア1号店出店など革新的な出来事があったそうですから、期待も膨らみます。昨年は新型コロナウイルスによって世界の多くの国が困難に見舞われました。2021年の始まりに心配な状況がありますが、習慣となった感染症への対策を地道に行い、困難を着実に克服しながら、子どもたちが夢と希望を抱く年となるよう、私たち大人が力を合わせて参りましょう。

12月のある日の登園時、年長さんの素敵な姿に出会いました。「〇〇くん、おはよう!」「〇〇ちゃん、おはよう!」と友達の名前を呼んであいさつしている姿でした。大好きな友達との一日の始まりに飛び切りさわやかな「あいさつ」ができること、なんと素晴らしいのでしょうか。園生活の月日の中で友達とのつながりを深め、自分からあいさつするその姿に感動しました。友達は、さぞ温かい気持ちになったことでしょう。もちろん、私の心もぼかぼかし、清々しく一日が始まりました。

私には毎朝、子どもたちと保護者の皆様とごあいさつさせていただいている幸せな時間があります。子どもたちは、立派なあいさつをする子、照れながらしている子、恥ずかしそうにしている子、早く遊びたいのであいさつ抜きで走り出す子など様々な姿ですが、どの子もその子なりの愛しい姿です。大人に「あいさつをしっかりしなさい」と促されて頑張っている姿もありますが、無理強いする必要はないようです。さわやかなあいさつをする大人の姿を見て、自然にあいさつができるようになっていきます。

素晴らしいことに高輪幼稚園では、保護者の皆様同士のあいさつの雰囲気がとても素敵です。学年を問わずすれ違う時に気持ちよくあいさつを交わしてくださっています。その姿は子どもたちに安心感をもたらします。子どもたちがこのまま温かい人間関係を築いていける人に育つために、どうぞ継続していただきたいと思います。

寒に入り、一番寒い季節になりましたが、歩いて登園すると園に着く頃には体が温まります。親子で季節や幼稚園のこと、交通の安全について話しながら歩くことは幼稚園時代ならではの思い出になることでしょう。特に年長組はあと3か月で就学です。残り少ない幼稚園の時間を親子で楽しんでください。保護者の皆様、2021年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年12月に高輪ゲートウェイ駅で利用客の皆様のを和ませた3歳児、4歳児の作品



新年に高輪ゲートウェイ駅のお掃除ロボットを楽しく飾る5歳児の作品

